

船舶事故等調査報告書

平成23年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|------------|--|---|
| 事故等番号 | 2011門第93号 | |
| 事故等種類 | 乗揚 | |
| 発生日時 | 平成23年1月14日 10時45分ごろ | |
| 発生場所 | 鹿児島県薩摩川内市手打港 手打港防波堤灯台から真方位145°60m付近 (概位 北緯31°37.9' 東経129°43.0') | |
| 事故等調査の経過 | 平成23年7月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | 船種船名、総トン数 貨物船 昌和丸、192.01トン 船舶番号、船舶所有者等 124769、川内川砂利生産協業組合 | |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、三級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | プロペラ曲損 | |
| 事故等の経過 | 本船は、船長ほか2人が乗り組み、砕石を揚げ荷のために下甕島手打港へ入航中、平成23年1月14日10時45分ごろ、同港入り口のB防波堤付近で船底に衝撃を受けた。 本船は、約3ノットの速力でA防波堤とB防波堤の間付近を航行中、中央より少し左側に寄って航行した。 本船は、航行に支障がなかったので手打港に入港着岸した。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3 海象：潮汐 上げ潮の初期 | |
| その他の事項 | 本船の喫水は、船首約2.6m、船尾約4.1mであった。 船長は、手打港に入港した経験が2回あったが、本事故発生場所付近に浅所があることを知らなかった。 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | あり なし なし 本船は、手打港へ入航中、A防波堤とB防波堤の間を航行する際、B防波堤側に接近したことから、B防波堤付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、手打港へ入航中、A防波堤とB防波堤の間を航行する際、B防波堤側に接近したため、B防波堤付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。 | |